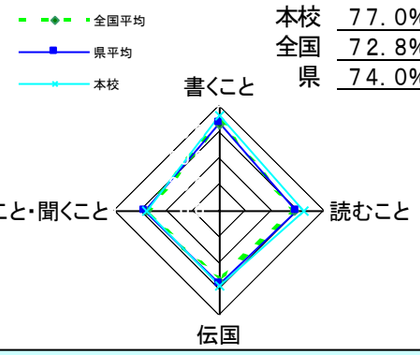
別紙４

指導方法等の改善計画について　〔国語科〕

呉市立　片　山　中学校

全国学力・学習状況調査　本年度正答率



本校	７７．０％
全国	７２．８％
県	７４．０％

重点課題

【課題１】問題２一「話合いでの発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する」の正答率が，県平均及び全国平均を下回る７６.６％であった。

【課題２】問題４「話の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する」の正答率が，県平均を下回る７８.７％であった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題１】話合いの話題や方向を捉えて的確に話したり，相手の発言を注意して聞いたりしながら，常に自分の考えと比較し，考えをまとめていく活動を通して，分かりやすく伝わるように表現を工夫するとともに，具体的な自分の考えを適切に表現できる力を高める。

【課題２】話や文章の表現活動の中で，場面や言葉の受け手の状況を捉えさせ，語の一部を省略しないことに留意したり，相手に分かりやすい言葉を選んで表現したりするなど，多様な場面や状況に応じた適切な活用の仕方を考えることを定着させる。

※　小中一貫した取組については，「書く」活動を通して語彙力や条件に合うまとめ方の伸長を図るとともに，「話合い」活動を取り入れることで，相手(他者)や場面に応じて適切に表現する力を身に付ける指導を行う。

【課題１】	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	２･３年生 課題試験		３年生 期末試験		２･３年生 課題試験	２年生 R元「全国学力」	
目標値	７５％		８０％		７５％	７０％	
実施後数値	2年 88.0%，3年 78.8%		７６．８％		2年 65.5%，3年 77.7%	８０．０％	

【課題２】	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法	２･３年生 課題試験		３年生 期末試験		２･３年生 課題試験	２年生 R元「全国学力」	
目標値	７５％		８０％		７５％	７０％	
実施後数値	2年 91.0%，3年 73.3%		７９．５％		2年 67.2%，3年 51.1%	７４．５％	

来年度に向けて

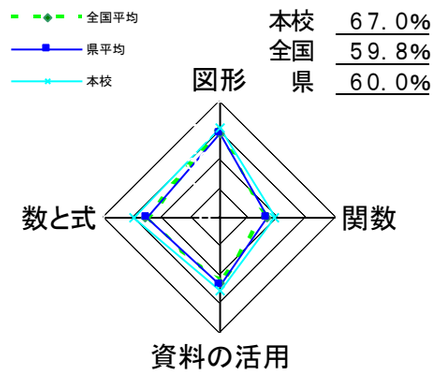
小中一貫で「話合い」活動を進める中で，話合いの話題や方向を捉え，相手の発言を踏まえて自分の考えを適切に表現できる力を高める。また，多様な場面や状況に応じて，話や文章の適切な表現活動に，具体的に取り組んでいく。

別紙４

指導方法等の改善計画について　〔数学科〕

呉市立　片　山　中学校

全国学力・学習状況調査　本年度正答率



本校	６７．０％
全国	５９．８％
県	６０．０％

重点課題

【課題１】表から反比例の式をつくる問題《4》（正答率５５．３％）で，比例の式をつくった生徒が１９．１％いた。

【課題２】適する代表値を選ぶ問題《８（３）》（正答率５９．６％）で，他の代表値を解答した生徒が３８．３％いた。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題１】中学校で学習する ①比例 ②反比例 ③１次関数 ④２乗に比例 の４つについて，表，式，グラフについての特徴をしっかり理解させ，関連付けて使用できるようにする。

【課題２】代表値の ①平均値 ②中央値 ③最頻値 の意味と利用方法とをしっかり理解させ，それらを関連付けて使用できるようにする。

※ 小中一貫した取組については，基礎的知識の習得を確実に行い，その知識を活用して自分の考えをもたせ，友達とかかわらせる場を充実させることで，数学的な思考力，判断力，表現力を高める。

【課題１】	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法					３学年 小テスト		
目標値					７５％		
実施後数値					７９％		

【課題２】	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法					３学年 小テスト		
目標値					７５％		
実施後数値					６３％		

来年度に向けて

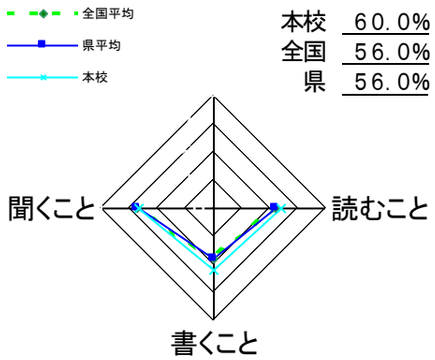
数学用語や基本的な公式，定義などをしっかり理解させるとともに，そのことがらを使用する活用問題に取り組ませることに重点をおく。

別紙４

指導方法等の改善計画について　〔英語科〕

呉市立 片 山 中学校

全国学力・学習状況調査　本年度正答率



本校	６０．０％
全国	５６．０％
県	５６．０％

重点課題

【課題１】来日する留学生の音声メッセージを聞いて，部活動についてのアドバイスを書く。（設問４）　平均正答率　６．３％
無解答　４１．７％

【課題２】食糧問題について書かれた資料を読んで，その問題に対する自分の考えを書く。（設問８）　正答率　１８．８％
無解答　２５．０％

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題１】「部活動についてのアドバイスがほしい」という問いに対して，部活動以外のアドバイスをしている。また，無解答の生徒も多い。今後はリスニングの練習を増やし，その際にメモを取りながら聞くことや，キーワードを見つけることに留意するように指導する。また，自己表現活動では学校生活についてのさまざまな英文を書く活動を増やす。

【課題２】教科書に出てくる食糧問題，環境問題，戦争と平和などの様々な社会問題についての語彙を増やし，それらについての自分の考えを英語で表現させる。

※ 小中一貫した取組については，コミュニケーション活動を授業の中で積極的に取り入れ，自分の考えを相手に伝える場面を増やし，英語で自己表現する活動に慣れ親しませる。

【課題１】	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法		２・３年生 中間試験	２・３年生 期末試験		３年生 学年末試験		１・２年生 学年末試験
目標値		７０％	７０％		７０％		７０％
実施後数値		2 年 61.7%　3 年 58.2%	2 年 58.0%　3年 60.7%		６５．６％		――

【課題２】	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法		２・３年生 中間試験	２・３年生 期末試験		３年生 学年末試験		１・２年生 学年末試験
目標値		７０％	７０％		７０％		７０％
実施後数値		2年 53.7%　3年 56.8%	2年66.8% 3年 58.3%		５６．１％		――

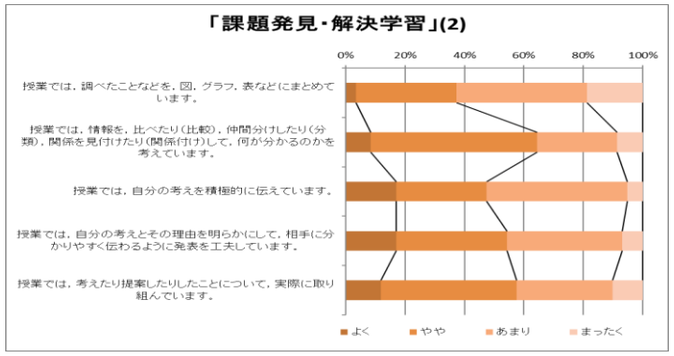
来年度に向けて

生徒に身近な題材や,様々な社会問題について，自分の考えを持ち，それを英語で表現する活動の場面を授業の中で増やしていく。

別紙４

２　質問紙調査　（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）　（全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査）

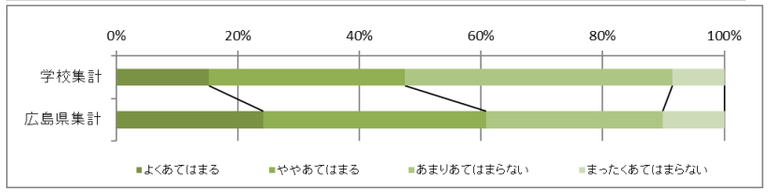
（１）生活・学習



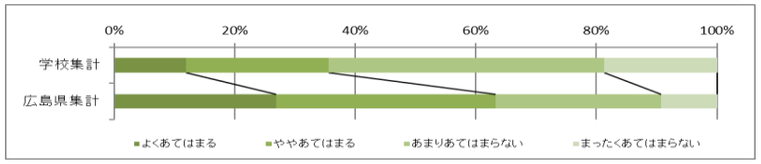
	生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
基礎・基本	「授業では，自分の考えを積極的に伝えています。」が，47.5%にとどまっている。	小グループでの話し合いを通じて，全員が発言できる場を保障し，それをつくっていく。	２	６０％	アンケート	２月	５８.９％
全国	「生徒間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができている。」の肯定的評価が，６６.６％にとどまり，県平均を下回っている。	ペアやグループでの「話合い」の活動を通して，「主体的な学び」への意識や姿勢を高めさせていく。	３	７０％	アンケート	２月	８９.４％

（２）教科

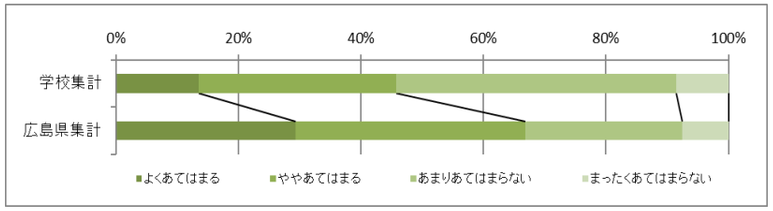
国語の授業で学んだことを，ふだんの生活で使ったり，学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。



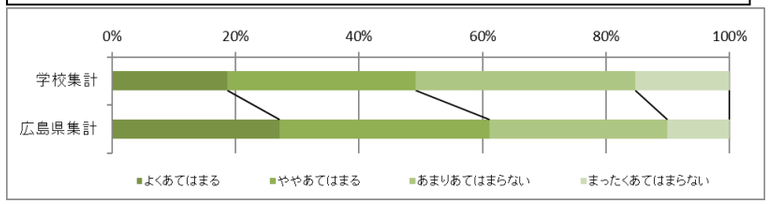
数学の授業では，文章に書かれている関係を式で表すために，絵や図，数直線，言葉の式などを使って考えています。



理科の授業では，自分の考えや予想をもとに観察や実験の計画を立てています。



英語の授業では，自分の考えや気持ち，事実などを英語で話しています。



		生徒の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
国語	基礎・基本	「国語の授業で学んだことを，ふだんの生活で使ったり，学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。」の肯定的評価が４７.５％にとどまり，県平均を下回っている。	学習のめあてとその振り返りで，授業で学んだことを，生活の中で使えることや活用の場面と結び付けさせて，評価させる。	２	６０％	アンケート	２月	６７.９％
国語	全国	「国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき，うまく伝わるように根拠を示したりするなど，話や文章の組み立てを工夫していますか。」の肯定的評価が６４.６％であった。	自分の伝えたい内容を話したり書いたりするときに，考えやその根拠を，メモして書き並べたり，分かりやすい構成を考えたりする活動を設ける。	３	７０％	アンケート	２月	７０.２％
数学	基礎・基本	「数学の授業では，関係を式で表すために，絵や図，数直線，ことばの式などを使って考えている」が 35.6%である。	図や線，ことばの式を使用せずに解決できる場合も，そのことに触れていくことで意識をもたせる。	２	５０％	アンケート	２月	８２.１％
数学	全国	「数学の勉強は好きですか」が，66.7%である。	数学が将来何に役立つかを知らせて学習への意欲を高める。基本事項を繰り返し学習することで，「できる」という実感を高める。	３	７５％	アンケート	２月	６６.０％
理科	基礎・基本	「理科の授業では，自分の考えや予想をもとに観察や実験の計画を立てています。」の肯定的評価が，45.8%だった。	小グループでの話し合い等を通じて，実験や観察の計画を立てさせ，結果を予想させる。	２	６０％	アンケート	２月	８０.４％
英語	基礎・基本	「英語の授業では，自分の考えや気持ち，事実などを英語で話しています。」の肯定的評価が 49.2%で県集計より低くなっている。	生徒にとって身近な学校生活場面でのやりとりや，環境問題などの社会問題についての意見交換など，様々な角度から英語を使って話し合うペアワークの時間を増やす。	２	６０％	アンケート	２月	８３.９％
英語	全国	「あなたはこれまで、学校の授業やそのための学習以外で，日常的に英語を使う機会が十分にありましたか」が 20.8%で県集計より低くなっている。	英語で電子メールを書いたり，英語のテレビ番組やホームページを見たりするなど，日常的に英語を使う場面をいろいろ提示し，興味を持たせるように指導する。	３	３０％	アンケート	２月	３６.２％